
景 気 動 向 調 査 結 果

— 平成29年第IV四半期（10月～12月期）分 —

平成30年3月

高山市商工観光部商工課

調査の概要

- 1 調査方法 調査対象を事業所統計調査のデータより無作為抽出（層化抽出）し、郵送の方法によるアンケート調査
- 2 調査対象 市内の企業 500社
- 3 調査時期 平成30年 1月下旬
- 4 回収状況 配布数 500社
有効回収数 156社 (有効回収率 31.2%)

※ 業種別回収状況

| | | |
|--------|-----|---------|
| 建設・土木業 | 26社 | (31.0%) |
| 製造業 | 31社 | (33.3%) |
| 卸売・小売業 | 31社 | (30.4%) |
| 飲食業 | 20社 | (25.3%) |
| 旅館業 | 24社 | (30.4%) |
| その他 | 24社 | (38.1%) |

計 156社 (31.2%)

※・農林水産業は、調査していない。

・その他の業種は、「サービス（旅館業除く）・運輸通信・金融保険・不動産業」をいう。

【参 考】

DI (Diffusion Index) 値

DIとは、デフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各項目ごとの「増加（上昇・好転・長期化）企業割合」と「減少（低下化・短期化）企業割合」の差を示すものです。「上昇（増加など）の割合 - 下降（減少など）の割合」

・はじめに

平成30年1月に実施しました、景気動向調査（平成29年10月～12月期）の結果について、とりまとめましたのでご報告いたします。

・概況

・販売（売上）の動向

前年同期比の産業全体の販売高DI値は▲4.5となり、前回（▲12.8）より8.3ポイント増加した。

前期比のDI値は▲1.2で、前回（▲5.4）より4.2ポイント増加した。

・景気の動向

今期の景気動向について、前期比のDI値は▲10.2となり、前回（▲13.9）より3.7ポイント増加した。

また、来期見込のDI値については、今期より16.8ポイント減少し、▲27.0となっている。

・雇用の状況

今期の雇用している人員が「過剰」と回答した事業所の割合は8.6%で、前回（4.9%）より3.7ポイント増加し、「不足」と回答した事業所の割合は38.9%で、前回（42.7%）より3.8ポイント減少した。

来期について「過剰」と回答した事業所の割合は10.6%で、今期の雇用状況と比較すると2.0ポイント増加している。「不足」と回答した事業所の割合は34.9%で、今期の雇用状況と比較して4.0ポイント減少している。

有効求人倍率については、12月期で1.39となっており、前回調査9月期（1.61）と比較すると0.22ポイント減少している。

・設備投資

今期「設備投資をした」と回答した事業所の割合は24.7%で、前回（22.0%）と比較して2.7ポイント増加した。また、向こう1年間の計画については、「設備投資を計画している」と回答した事業所の割合が33.1%で、今期の設備投資実績より増加傾向にあり、前回調査（30.0%）からは3.1ポイント増加している。

1. 販売（売上）の状況

前年同期比の販売高、前期比の販売高D I 値はともに上昇

1-1 前年同期比

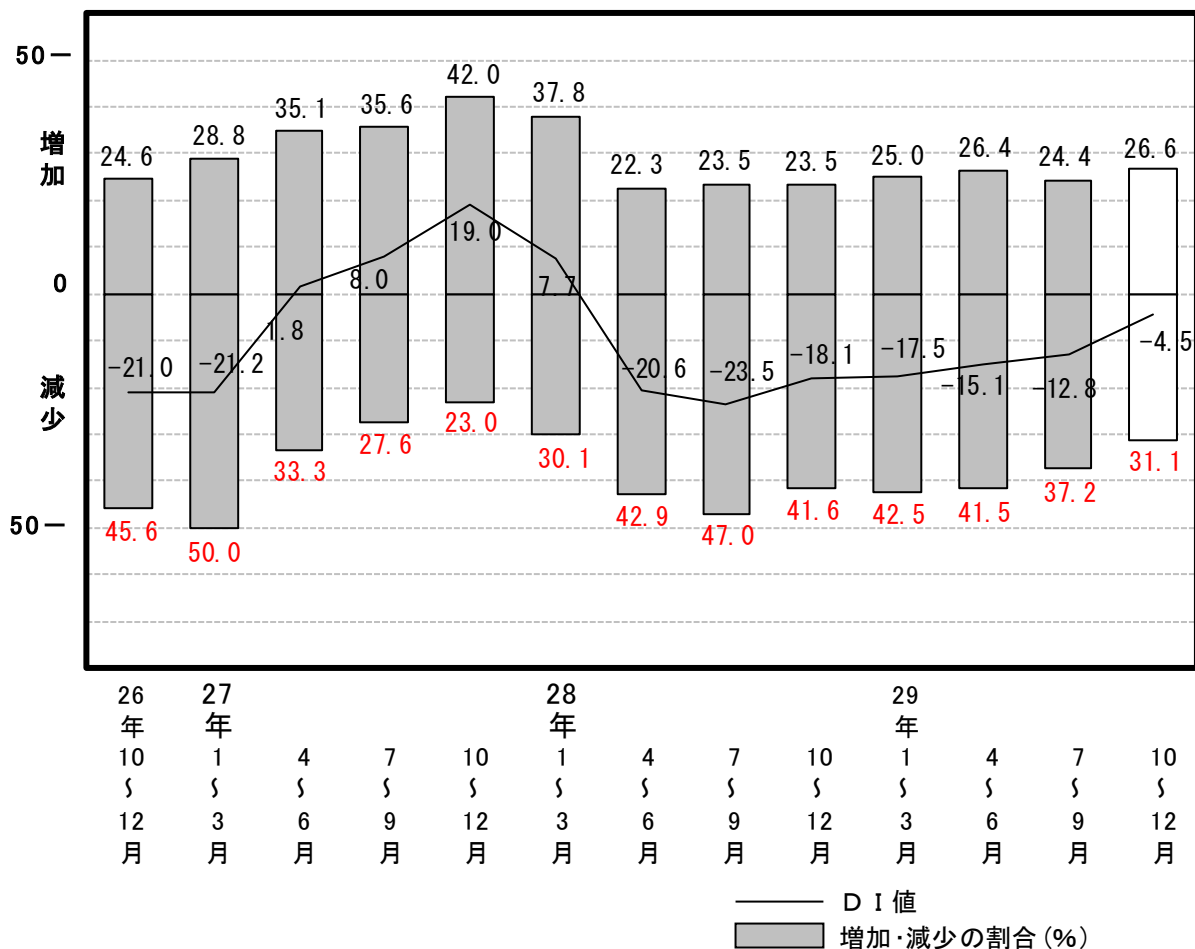
販売高が前年同期と比較して、「増加した」と回答した事業所の割合は26.6%で前回(24.4%)より2.2ポイント増加し、「減少した」と回答した事業所の割合は31.1%で前回(37.2%)より6.1ポイント減少した。その結果、今期の販売高D I 値は▲4.5となり、前回(▲12.8)より8.3ポイント増加した。

(第1図 参照)

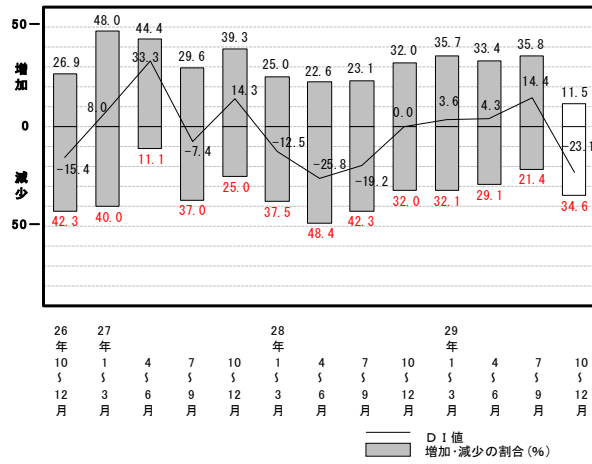
業種別のD I 値を分析すると、「建設・土木業」「製造業」の業種においては前回調査よりも減少しており、それ以外の業種においてはいずれも増加している。

(参考図 販売高D I 値の推移(各業種 前年同期比) 参照)

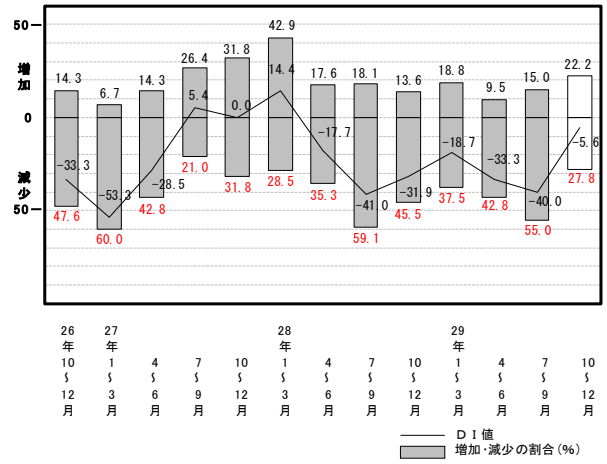
第1図 販売高D I 値の推移(前年同期比)



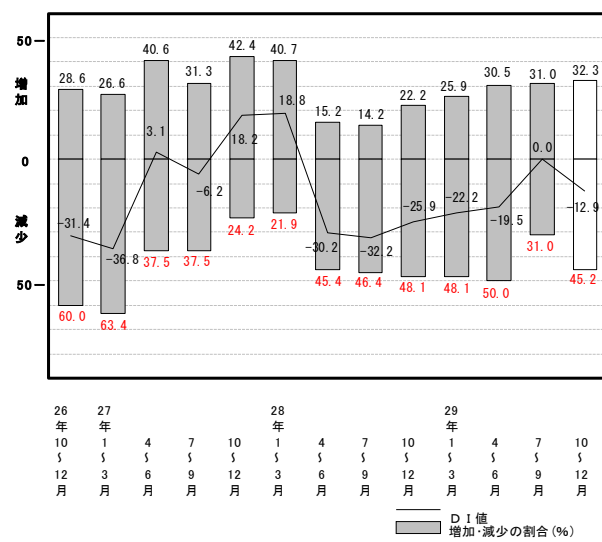
参考図 販売高D I 値の推移 (建設・土木業 前年同期比)



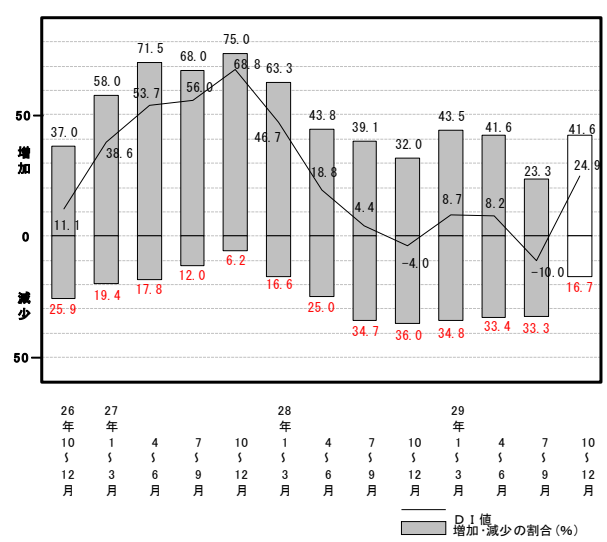
参考図 販売高D I 値の推移 (飲食業 前年同期比)



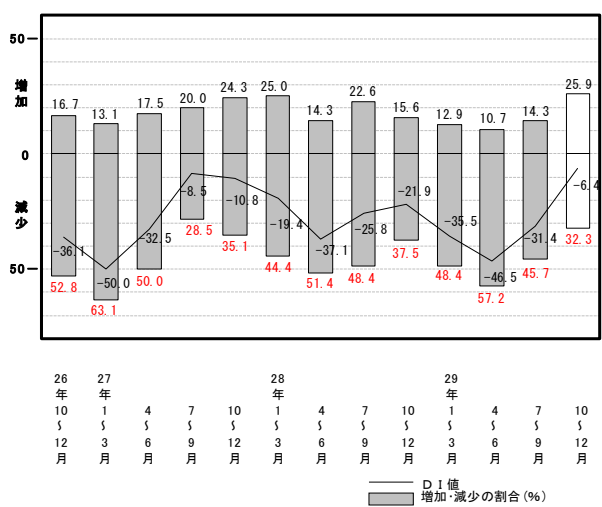
参考図 販売高D I 値の推移 (製造業 前年同期比)



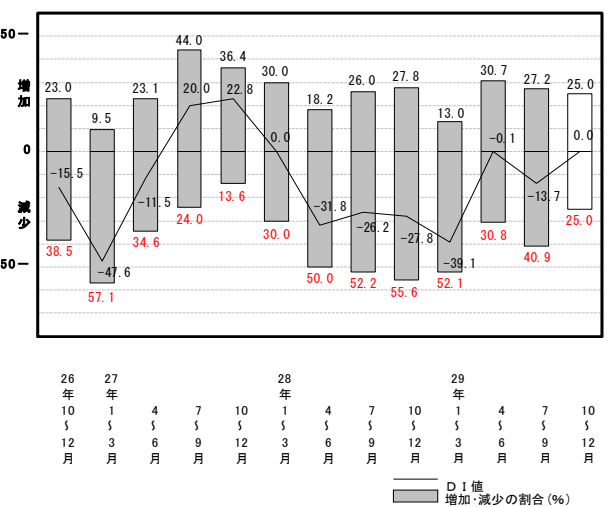
参考図 販売高D I 値の推移 (旅館業 前年同期比)



参考図 販売高D I 値の推移 (卸売・小売業 前年同期比)



参考図 販売高D I 値の推移 (その他 前年同期比)



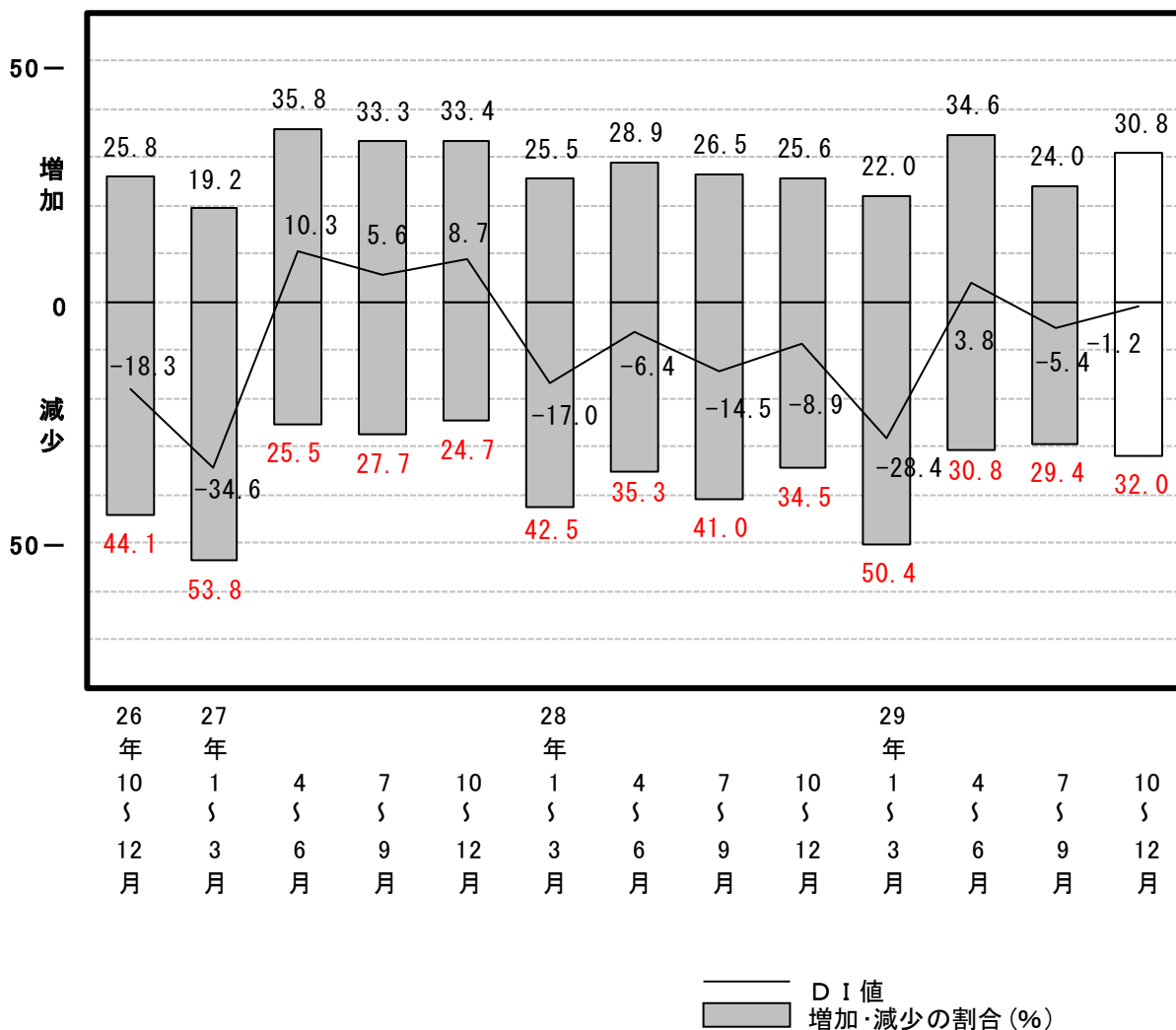
1-2 前期比

販売高が前期と比較して、「増加した」と回答した事業所の割合は30.8%で前回(24.0%)より6.8ポイント増加し、「減少した」と回答した事業所の割合は32.0%で前回(29.4%)より2.6ポイント増加した。その結果、今期のD I値は▲1.2となり、前回(▲5.4)より4.2ポイント増加した。(第2図 参照)

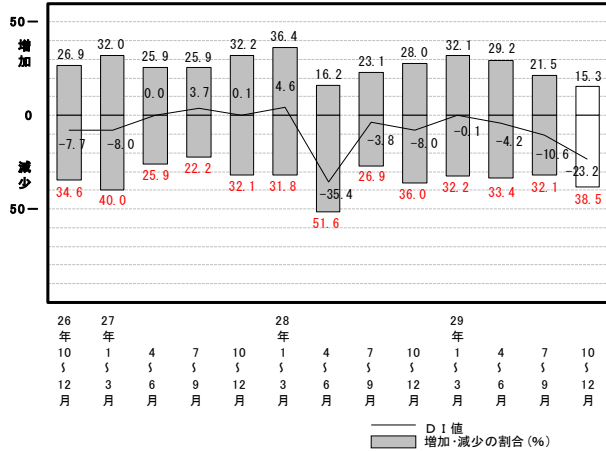
業種別のD I値を分析すると、「建設・土木業」「旅館業」の業種においては前回調査よりも減少しており、それ以外の業種においてはいずれも増加している。

(参考図 販売高D I値の推移(各業種 前期比) 参照)

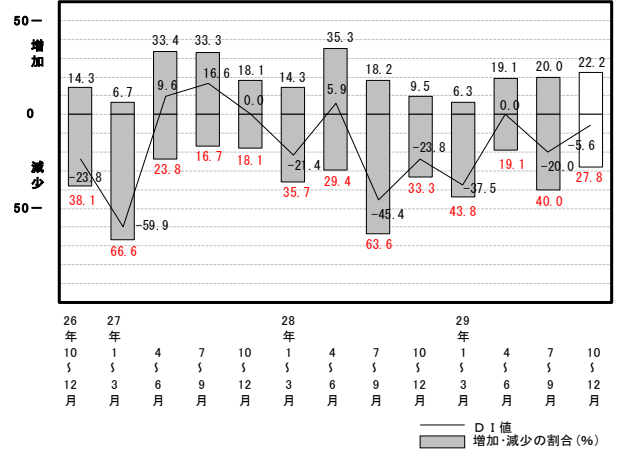
第2図 販売高D I値の推移(前期比)



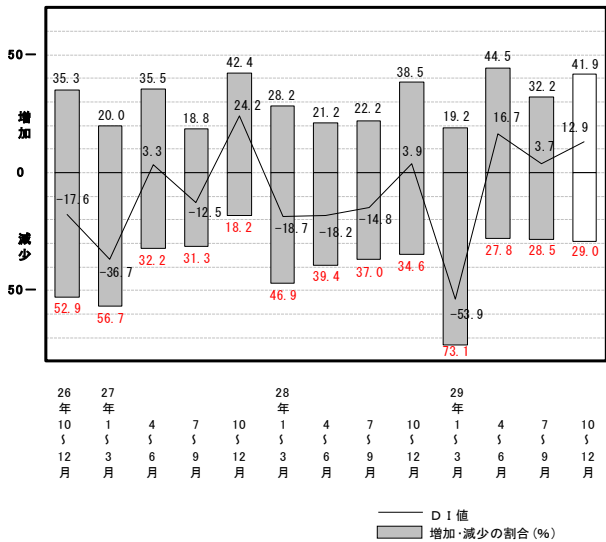
参考図 販売高D I 値の推移（建設・土木業 前期比）



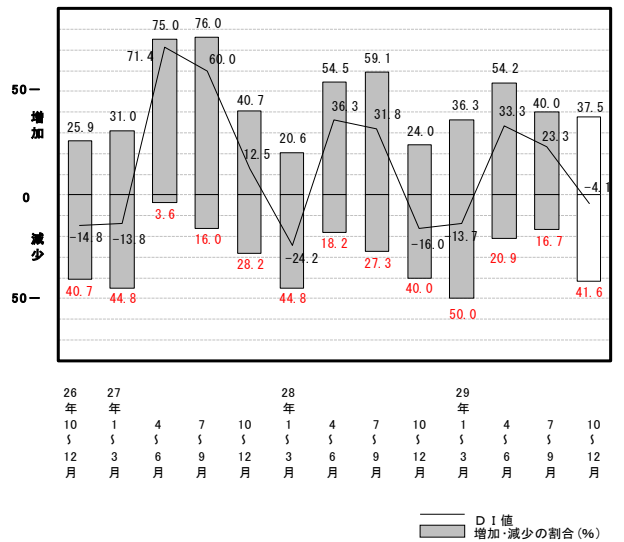
参考図 販売高D I 値の推移（飲食業 前期比）



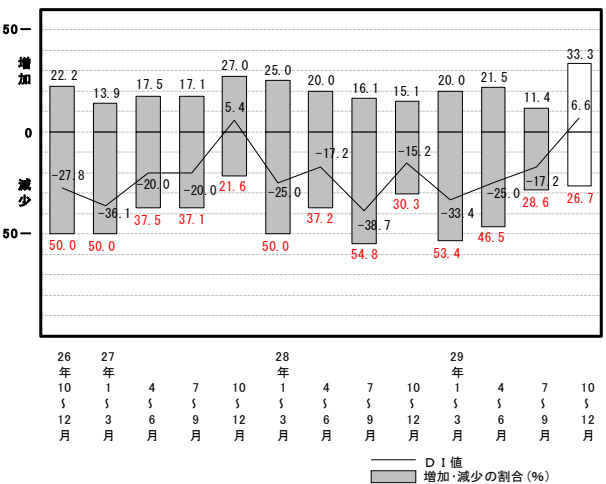
参考図 販売高D I 値の推移（製造業 前期比）



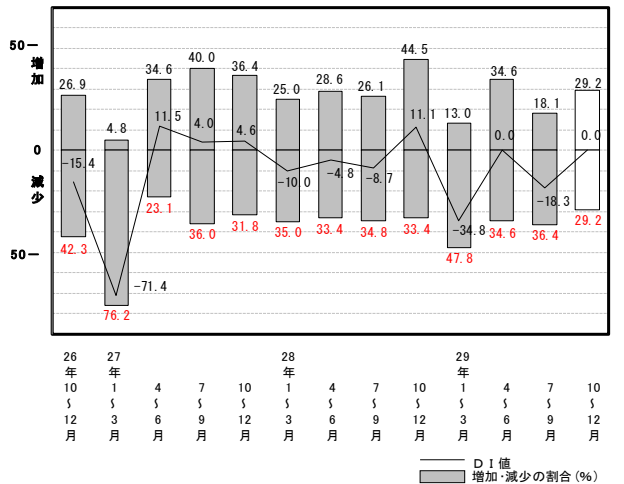
参考図 販売高D I 値の推移（旅館業 前期比）



参考図 販売高D I 値の推移（卸売・小売業 前期比）



参考図 販売高D I 値の推移（その他 前期比）



2. 景気の動向（自社の景気）

景気動向のD I 値は上昇、来期見込のD I 値は下降傾向

自社の景気動向について今期のD I 値をみると、産業全体としては▲10.2となり前回（▲13.9）より3.7ポイント増加した。（第3図 参照）

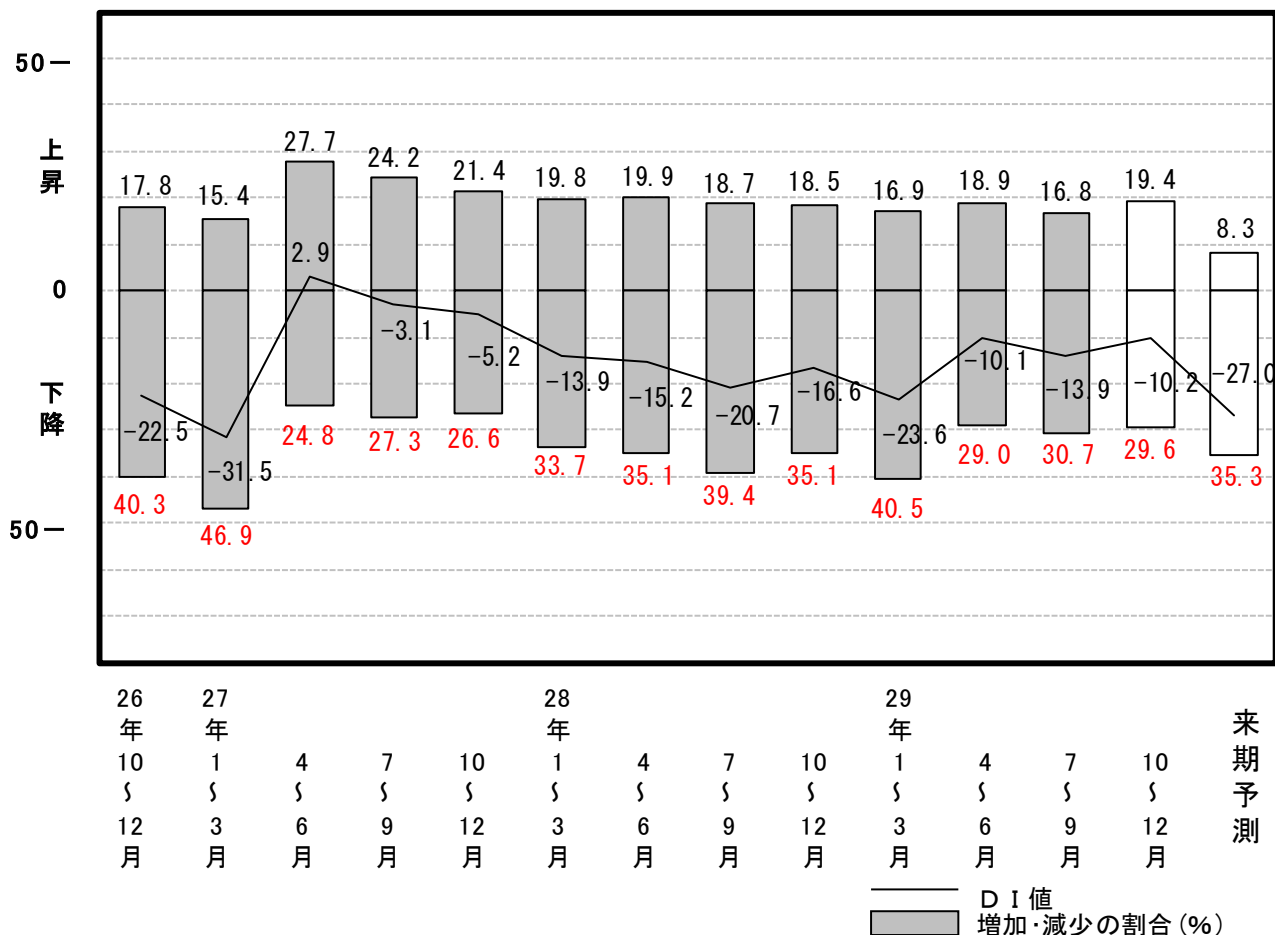
前回調査時における来期見込のD I 値は▲18.3（4.4ポイント減少見込）であったことを踏まえると、今期は前回調査時に予測していたよりも、景気が回復傾向にあったと考えられる。

また、来期見込（今期比）のD I 値は▲27.0で今期値より16.8ポイント減少しており、今期よりも厳しい状況になると考えている事業所の割合が多い。

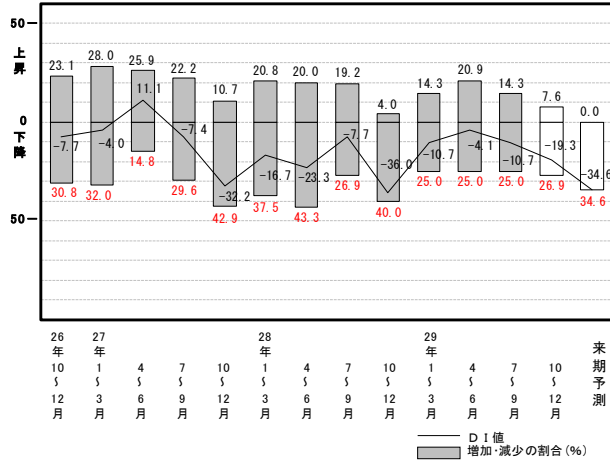
業種別のD I 値を分析すると、今期は「製造業」「卸売・小売業」「その他」以外の業種において減少している。

また、来期予測に関しては、「飲食業」以外の業種において下降すると予測している事業所の割合が多い。（参考図 景気D I 値の推移（各業種） 参照）

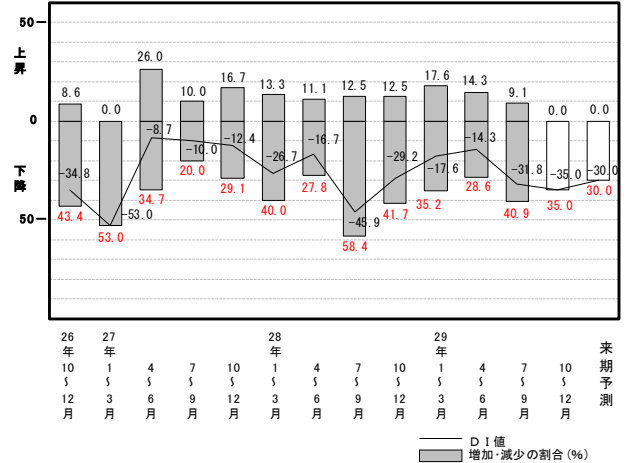
第3図 景気D I 値の推移（全体）



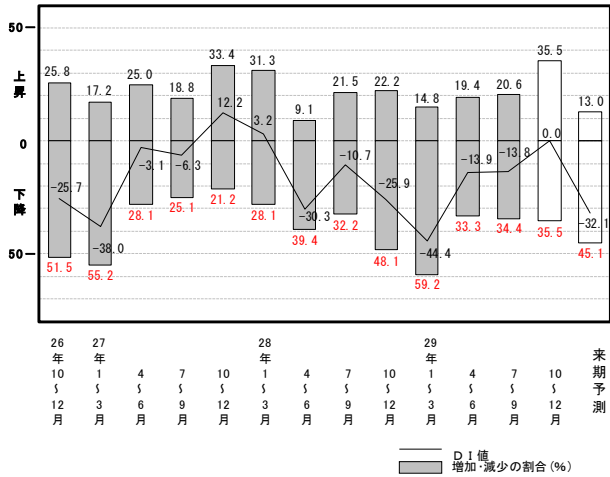
参考図 景気DI値の推移（建設・土木業）



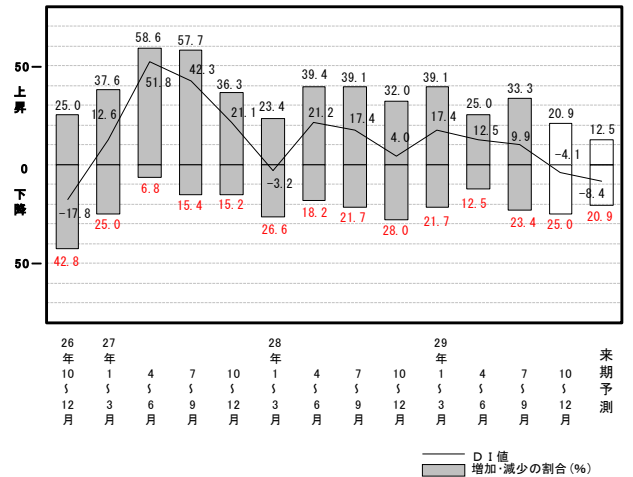
参考図 景気DI値の推移（飲食業）



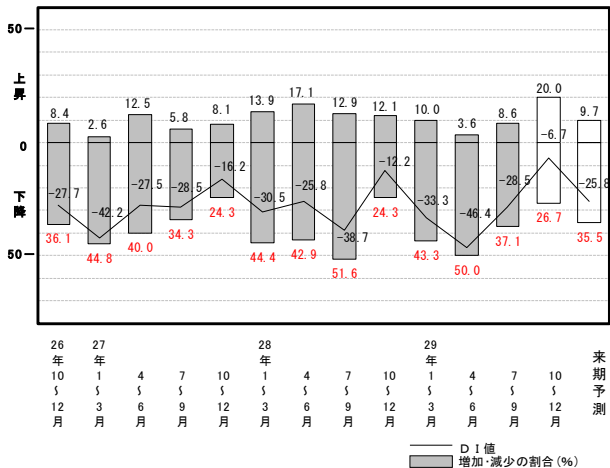
参考図 景気DI値の推移（製造業）



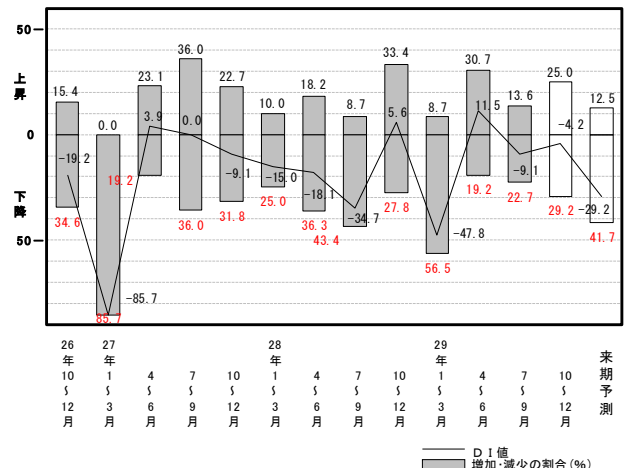
参考図 景気DI値の推移（旅館業）



参考図 景気DI値の推移（卸売・小売業）



参考図 景気DI値の推移（その他）



3. 雇用の状況

雇用状況の「過剰感」は増加、「不足感」は減少

今期において、雇用している人員が「過剰である」「やや過剰である」と回答した事業所の割合は8.6%で、前回(4.9%)より3.7ポイント増加した。

また、「不足している」「やや不足している」と回答した事業所の割合は38.9%で前回(42.7%)より3.8ポイント減少した。

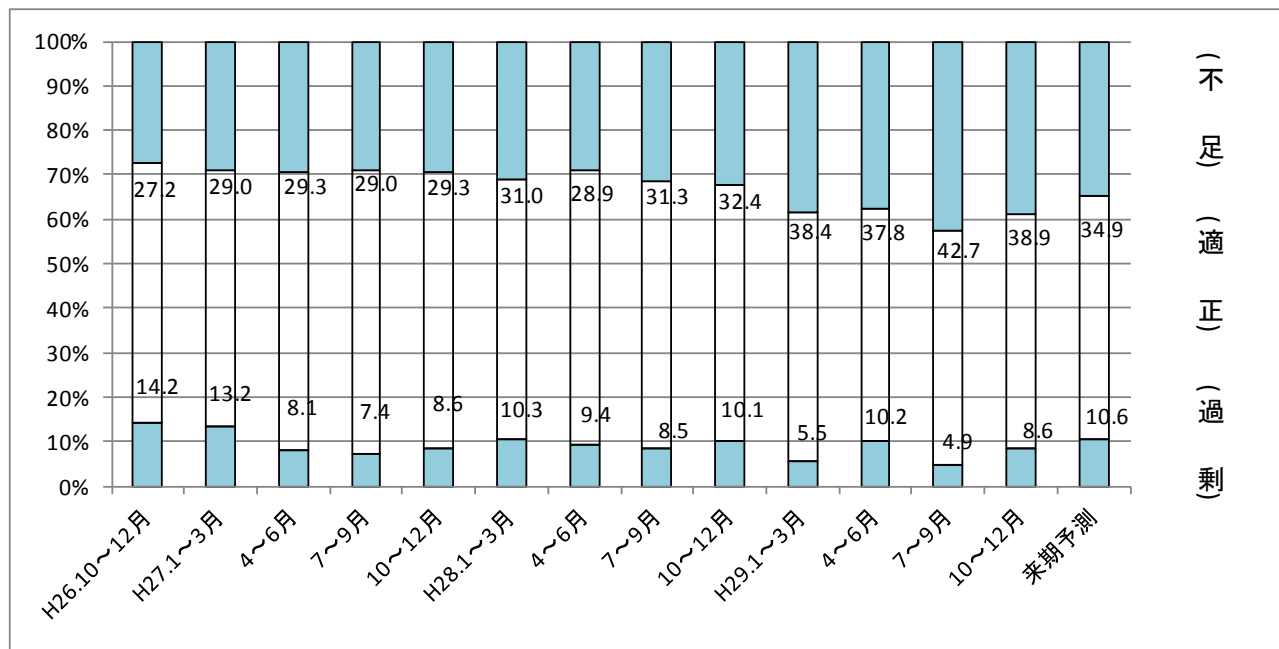
来期予測に関しては、「過剰」が10.6%で今期より2.0ポイント増加、「不足」が34.9%で今期より4.0ポイント減少している。(第4図 参照)

業種別の数値を分析すると、今期は「製造業」以外の業種において「過剰」と回答している事業所の割合が増加し、「製造業」「卸売・小売業」以外の業種においては「不足」と回答している事業所の割合が減少している。

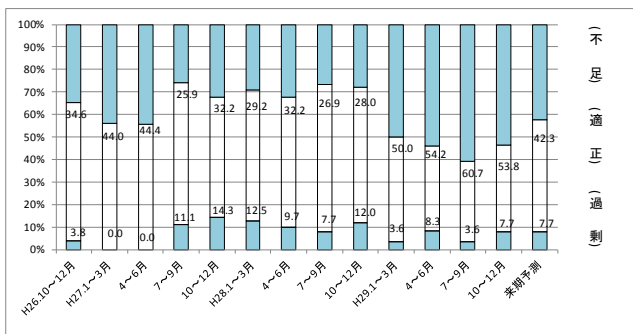
来期予測に関しては、「製造業」「旅館業」「その他」において「過剰」と予測する事業所の割合が増加し、「建設・土木業」「製造業」「飲食業」「旅館業」においては、「不足」と予測する事業所の割合が減少している。

(参考図 雇用の状況の推移(各業種) 参照)

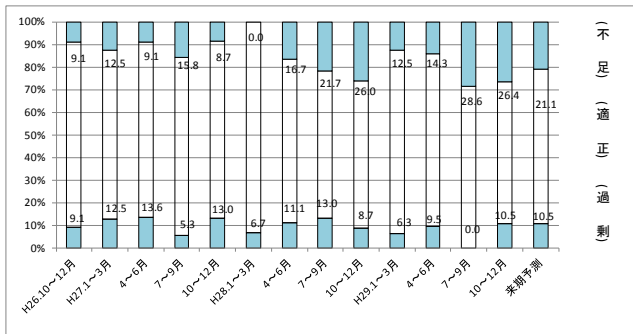
第4図 雇用の状況の推移(全体)



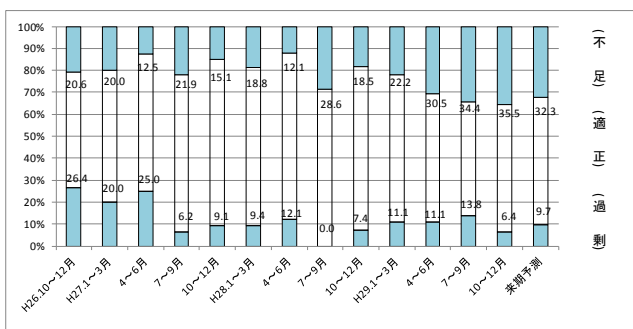
参考図 雇用の状況の推移（建設・土木業）



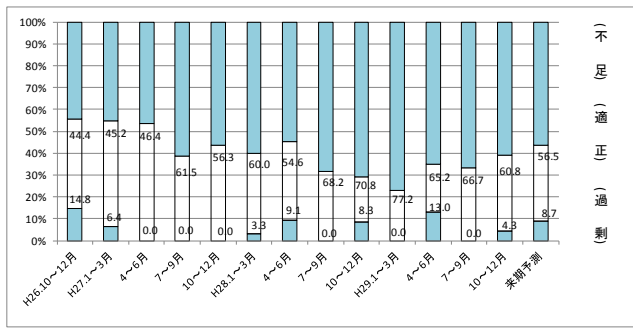
参考図 雇用の状況の推移（飲食業）



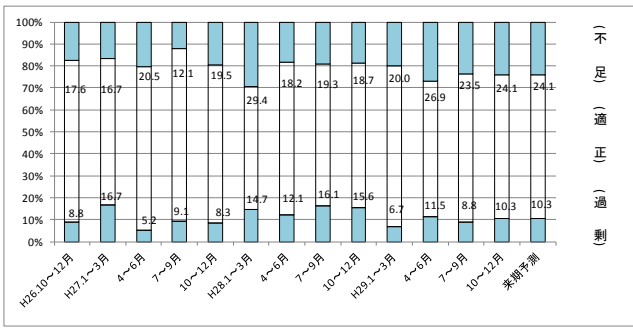
参考図 雇用の状況の推移（製造業）



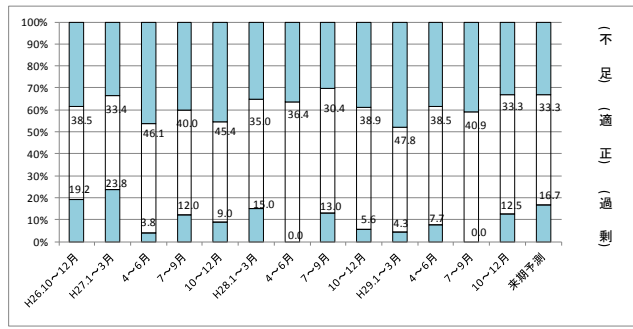
参考図 雇用の状況の推移（旅館業）



参考図 雇用の状況の推移（卸売・小売業）



参考図 雇用の状況の推移（その他）



4. 設備投資

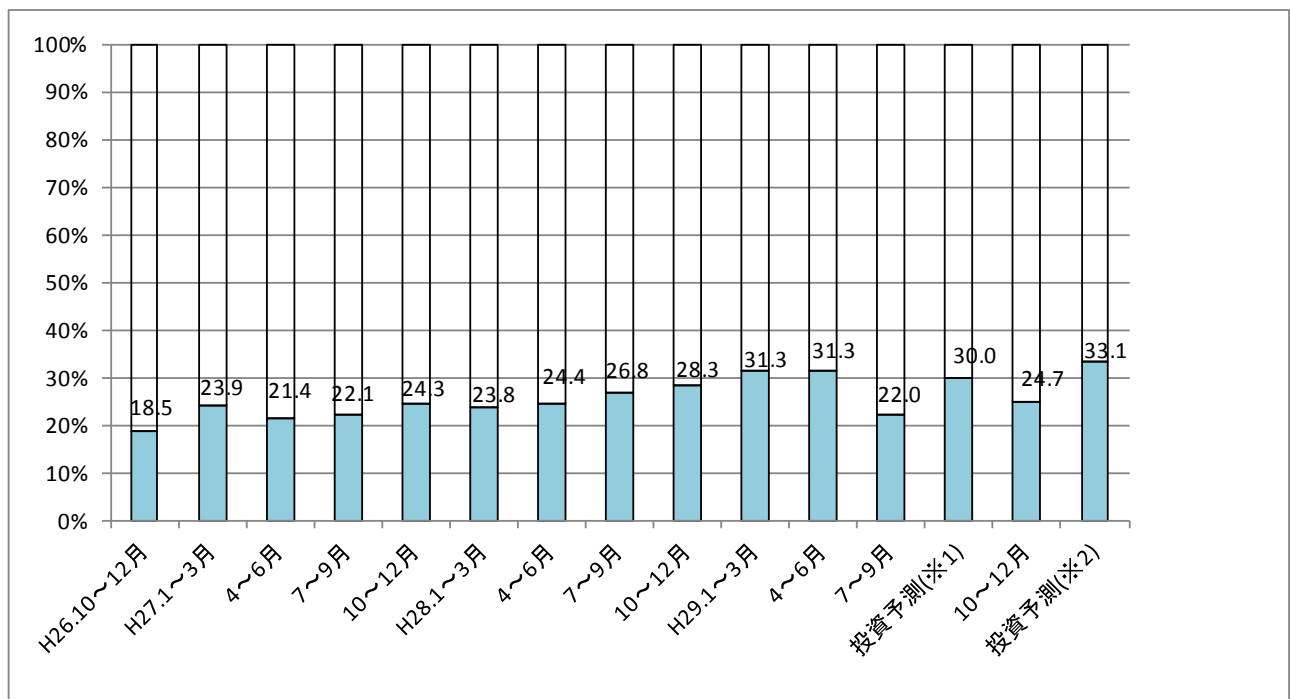
設備投資を行った事業所、 来期以降の設備投資計画はともに増加傾向

今期「設備投資をした」と回答した事業所の割合は24.7%で、前回（22.0%）より2.7ポイント増加した。（第5図 参照）また、向こう1年間の計画については、「設備投資を計画している」と回答した事業所の割合は33.1%となっており、前回調査時の予測値（30.0%）より3.1ポイント増加した。

業種別にみると、「旅館業」「その他」以外の業種において前回調査の予測値を下回っている。また、向こう1年の投資計画は、「製造業」「飲食業」以外の業種において前回調査の予測値を上回っている。

（参考図 設備投資の推移（各業種） 参照）

第5図 設備投資の推移（全体）



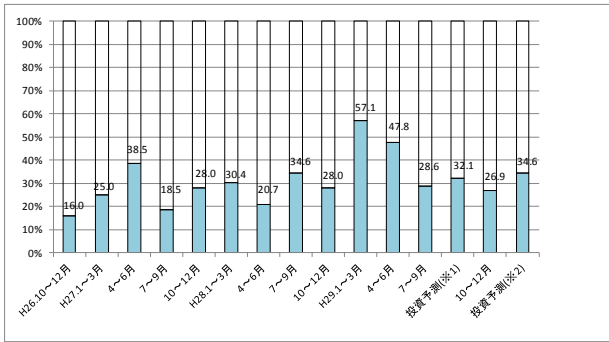
投資予測※1

前回調査（7～9月期）における向こう1年間の投資計画

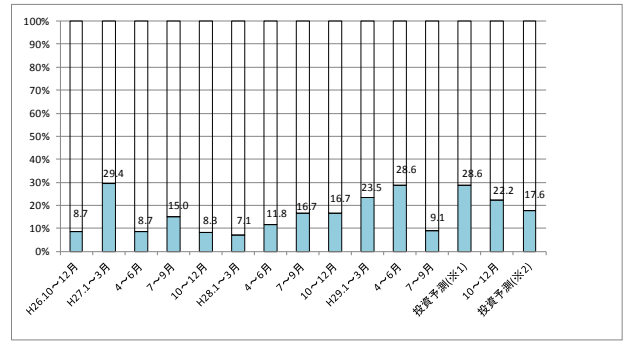
投資予測※2

今回調査（10～12月期）における向こう1年間の投資計画

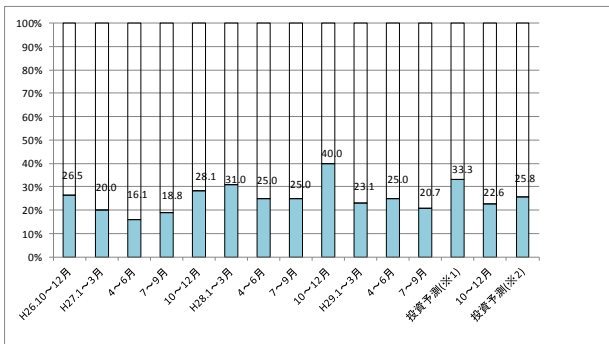
参考図 設備投資の推移(建設・土木業)



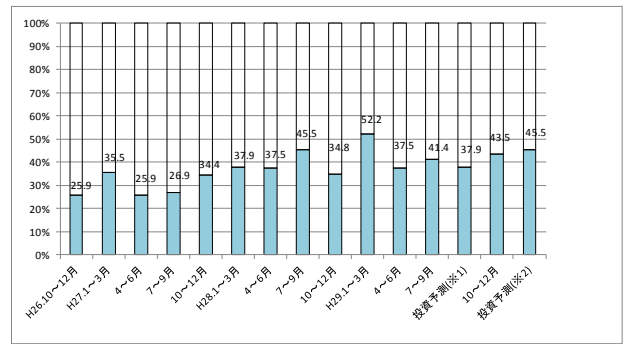
参考図 設備投資の推移(飲食業)



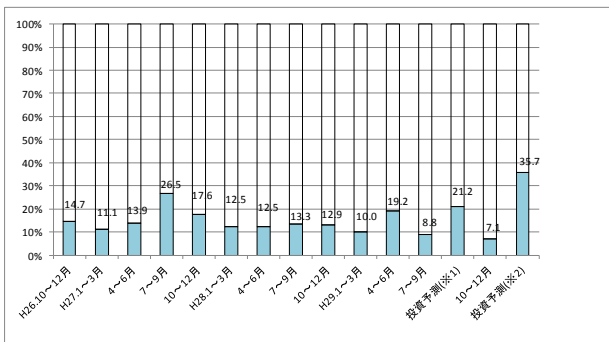
参考図 設備投資の推移(製造業)



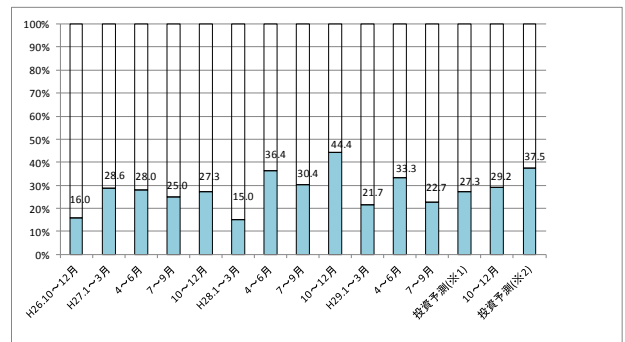
参考図 設備投資の推移(旅館業)



参考図 設備投資の推移(卸売・小売業)



参考図 設備投資の推移(その他)



景気動向調査結果業種別集計表

平成29年 10月～12月期

(単位：%)

| 項目 | 比較区分 | 状況 | 産 業 全 体 | 建 設 土 木 | 製 造 | 卸 ・ 小 売 | 飲 食 | 旅 館 | そ の 他 |
|------------|---------------------|-------------|------------------|------------------|--------|------------------|--------|--------|-------------|
| 販売高 | (今期) 前年同期と比べて | 10%以上増加 | 5.8 | 7.7 | 9.7 | 6.5 | 0.0 | 8.3 | 0.0 |
| | | 3%以上10%未満増加 | 20.8 | 3.8 | 22.6 | 19.4 | 22.2 | 33.3 | 25.0 |
| | | 横ばい | 42.3 | 53.9 | 22.5 | 41.8 | 50.0 | 41.7 | 50.0 |
| | | 3%以上10%未満減少 | 22.7 | 23.1 | 25.8 | 22.6 | 27.8 | 16.7 | 20.8 |
| 出荷額 | (今期) 前期と比べて | 10%以上増加 | 9.2 | 11.5 | 16.1 | 10.0 | 0.0 | 8.3 | 4.2 |
| | | 3%以上10%未満増加 | 21.6 | 3.8 | 25.8 | 23.3 | 22.2 | 29.2 | 25.0 |
| | | 横ばい | 37.2 | 46.2 | 29.1 | 40.0 | 50.0 | 20.9 | 41.6 |
| | | 3%以上10%未満減少 | 22.2 | 30.8 | 12.9 | 10.0 | 27.8 | 33.3 | 25.0 |
| 工事高 | (今期) 前期と比べて | 10%以上増加 | 9.2 | 11.5 | 16.1 | 10.0 | 0.0 | 8.3 | 4.2 |
| | | 3%以上10%未満増加 | 21.6 | 3.8 | 25.8 | 23.3 | 22.2 | 29.2 | 25.0 |
| | | 横ばい | 37.2 | 46.2 | 29.1 | 40.0 | 50.0 | 20.9 | 41.6 |
| | | 3%以上10%未満減少 | 22.2 | 30.8 | 12.9 | 10.0 | 27.8 | 33.3 | 25.0 |
| 景気の動向 | (今期) 前期と比べて | 10%以上増加 | 9.2 | 11.5 | 16.1 | 10.0 | 0.0 | 8.3 | 4.2 |
| | | 3%以上10%未満増加 | 21.6 | 3.8 | 25.8 | 23.3 | 22.2 | 29.2 | 25.0 |
| | | 横ばい | 37.2 | 46.2 | 29.1 | 40.0 | 50.0 | 20.9 | 41.6 |
| | | 3%以上10%未満減少 | 22.2 | 30.8 | 12.9 | 10.0 | 27.8 | 33.3 | 25.0 |
| 自社の景気 | (来期見込) 今期と比べて | 上昇した | 3.9 | 3.8 | 6.5 | 6.7 | 0.0 | 4.2 | 0.0 |
| | | やや上昇した | 15.5 | 3.8 | 29.0 | 13.3 | 0.0 | 16.7 | 25.0 |
| | | 横ばい | 51.0 | 65.5 | 29.0 | 53.3 | 65.0 | 54.1 | 45.8 |
| | | やや下降した | 21.9 | 23.1 | 19.4 | 16.7 | 35.0 | 16.7 | 25.0 |
| 自社の景気 | (来期見込) 今期と比べて | 下降した | 7.7 | 3.8 | 16.1 | 10.0 | 0.0 | 8.3 | 4.2 |
| | | 上昇する | 1.9 | 0.0 | 6.5 | 0.0 | 0.0 | 4.2 | 0.0 |
| | | やや上昇する | 6.4 | 0.0 | 6.5 | 9.7 | 0.0 | 8.3 | 12.5 |
| | | 横ばい | 56.4 | 65.4 | 41.9 | 54.8 | 70.0 | 66.6 | 45.8 |
| 自社の景気 | (来期見込) 今期と比べて | やや下降する | 27.6 | 23.1 | 29.0 | 25.8 | 30.0 | 16.7 | 41.7 |
| | | 下降する | 7.7 | 11.5 | 16.1 | 9.7 | 0.0 | 4.2 | 0.0 |
| | | 過剰である | 0.7 | 0.0 | 3.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | | やや過剰である | 7.9 | 7.7 | 3.2 | 10.3 | 10.5 | 4.3 | 12.5 |
| 雇用人員 | (今期) 今期水準 | 適正である | 52.5 | 38.5 | 58.1 | 65.6 | 63.1 | 34.9 | 54.2 |
| | | やや不足している | 30.3 | 50.0 | 25.8 | 20.7 | 21.1 | 39.1 | 25.0 |
| | | 不足している | 8.6 | 3.8 | 9.7 | 3.4 | 5.3 | 21.7 | 8.3 |
| | | 過剰となる | 0.7 | 0.0 | 3.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 雇用人員 | (来期予想) 来期水準 | やや過剰となる | 9.9 | 7.7 | 6.5 | 10.3 | 10.5 | 8.7 | 16.7 |
| | | 適正である | 54.5 | 50.0 | 58.0 | 65.6 | 68.4 | 34.8 | 50.0 |
| | | やや不足する | 25.7 | 34.6 | 25.8 | 20.7 | 15.8 | 30.4 | 25.0 |
| | | 不足する | 9.2 | 7.7 | 6.5 | 3.4 | 5.3 | 26.1 | 8.3 |
| 設備投資 | (今期) 今期実績 | 設備投資した | 24.7 | 26.9 | 22.6 | 7.1 | 22.2 | 43.5 | 29.2 |
| | | 設備投資していない | 75.3 | 73.1 | 77.4 | 92.9 | 77.8 | 56.5 | 70.8 |
| | (来期以降) 計画(向こう1年) | //を計画している | 33.1 | 34.6 | 25.8 | 35.7 | 17.6 | 45.5 | 37.5 |
| 資金繰り | (今期) 前年同期と比べて | //を計画していない | 66.9 | 65.4 | 74.2 | 64.3 | 82.4 | 54.5 | 62.5 |
| | | 楽になった | 3.3 | 7.7 | 0.0 | 3.3 | 0.0 | 4.2 | 4.2 |
| | | やや楽になった | 11.8 | 7.7 | 19.4 | 16.7 | 11.1 | 8.3 | 4.2 |
| | | 横ばい | 71.1 | 73.1 | 64.4 | 63.3 | 72.2 | 83.3 | 74.9 |
| 資金繰り | (今期) 前期と比べて | やや苦しくなった | 9.2 | 7.7 | 6.5 | 10.0 | 16.7 | 4.2 | 12.5 |
| | | 苦しくなった | 4.6 | 3.8 | 9.7 | 6.7 | 0.0 | 0.0 | 4.2 |
| | | 楽になった | 3.3 | 3.8 | 0.0 | 6.7 | 0.0 | 4.3 | 4.2 |
| | | やや楽になった | 10.5 | 7.7 | 16.1 | 13.3 | 5.6 | 17.4 | 0.0 |
| 資金繰り | (今期) 前期と比べて | 横ばい | 66.4 | 65.5 | 67.7 | 56.6 | 77.7 | 65.3 | 70.8 |
| | | やや苦しなくなった | 14.5 | 19.2 | 6.5 | 16.7 | 16.7 | 8.7 | 20.8 |
| | | 苦しなくなった | 5.3 | 3.8 | 9.7 | 6.7 | 0.0 | 4.3 | 4.2 |
| | | 上昇した | 12.5 | 3.8 | 16.1 | 6.7 | 16.7 | 16.7 | 17.4 |
| 原材料購入 | (今期) 前年同期と比べて | やや上昇した | 44.1 | 26.9 | 54.8 | 50.0 | 55.6 | 45.8 | 30.4 |
| | | 横ばい | 42.7 | 69.3 | 29.1 | 43.3 | 27.7 | 33.3 | 52.2 |
| | | やや低下した | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | | 低下した | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.2 | 0.0 |
| 購入価格、仕入価格等 | (今期) 前期と比べて | 上昇した | 12.5 | 3.8 | 12.9 | 6.7 | 22.2 | 16.7 | 17.4 |
| | | やや上昇した | 44.7 | 34.6 | 48.4 | 46.7 | 61.1 | 45.8 | 34.8 |
| | | 横ばい | 39.5 | 57.8 | 38.7 | 43.3 | 16.7 | 25.0 | 47.8 |
| | | やや低下した | 1.3 | 3.8 | 0.0 | 3.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 購入価格、仕入価格等 | (今期) 前期と比べて | 低下した | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 12.5 | 0.0 |

【参考資料】

工業指標

(単位:件,人,万円)

| 区 分 | 2 1 年 | 2 2 年 | 2 4 年 | 2 5 年 | 2 6 年 |
|-----------------|---------------------|--------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 事業所数 (指数) | 232 (100) | 222 (95) | 210 (90) | 201 (86) | 195 (84) |
| 従業者数 (指数) | 5,321 (100) | 5,347 (100) | 5,439 (102) | 5,504 (103) | 5,267 (98) |
| 製造品出荷額等 (指数) | 10,585,570 (100) | 10,355,962 (97) | 11,898,399 (112) | 12,042,054 (113) | 12,374,170 (116) |

(指数:平成21年=100)

工業統計

商業指標

(単位:店,人,万円)

| 区 分 | 2 6 年 |
|-------|------------|
| 商店数 | 1,414 |
| 従業者数 | 7,820 |
| 商品販売額 | 20,705,901 |

商業統計

月別観光入込数(高山市全域)

(単位:人)

| | 観 光 入 込 数 | | | |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 2 9 年 | 2 8 年 | 2 7 年 | 2 6 年 |
| 1月 | 402,000 | 383,000 | 362,000 | 357,000 |
| 2月 | 285,000 | 288,000 | 267,000 | 249,000 |
| 3月 | 303,000 | 295,000 | 275,000 | 253,000 |
| 4月 | 608,000 | 460,000 | 413,000 | 404,000 |
| 5月 | 590,000 | 471,000 | 467,000 | 431,000 |
| 6月 | 229,000 | 227,000 | 217,000 | 214,000 |
| 7月 | 291,000 | 308,000 | 280,000 | 265,000 |
| 8月 | 465,000 | 502,000 | 479,000 | 438,000 |
| 9月 | 331,000 | 336,000 | 362,000 | 329,000 |
| 10月 | 501,000 | 572,000 | 571,000 | 490,000 |
| 11月 | 354,000 | 387,000 | 378,000 | 364,000 |
| 12月 | 264,000 | 282,000 | 270,000 | 231,000 |
| 累 計 | 4,623,000 | 4,511,000 | 4,341,000 | 4,025,000 |

観光課資料

有効求人倍率(飛騨管内)

| | 有効求人倍率 | |
|-----|--------|------|
| | 29年 | 28年 |
| 1月 | 1.24 | 1.25 |
| 2月 | 1.32 | 1.30 |
| 3月 | 1.39 | 1.39 |
| 4月 | 1.47 | 1.38 |
| 5月 | 1.53 | 1.37 |
| 6月 | 1.59 | 1.41 |
| 7月 | 1.69 | 1.56 |
| 8月 | 1.69 | 1.61 |
| 9月 | 1.61 | 1.64 |
| 10月 | 1.48 | 1.57 |
| 11月 | 1.36 | 1.52 |
| 12月 | 1.39 | 1.32 |

高山公共職業安定所資料

月別観光入込数(高山地域)

(単位:人)

| | 観光入込数 | |
|-----|-----------|-----------|
| | 29年 | 28年 |
| 1月 | 205,000 | 199,000 |
| 2月 | 190,000 | 194,000 |
| 3月 | 198,000 | 193,000 |
| 4月 | 560,000 | 453,000 |
| 5月 | 503,000 | 468,000 |
| 6月 | 181,000 | 177,000 |
| 7月 | 176,000 | 179,000 |
| 8月 | 294,000 | 316,000 |
| 9月 | 218,000 | 228,000 |
| 10月 | 490,000 | 559,000 |
| 11月 | 343,000 | 383,000 |
| 12月 | 255,000 | 263,000 |
| 累計 | 3,613,000 | 3,612,000 |

観光課資料